

第1学年進路便り

平成三十年五月九日(水) 新宮高校1学年
進路指導部

ゴールデンウィークも明け、高校生活が始まって、はや一カ月が過ぎました。新宮高校での生活にはもう慣れましたか。中学校との違いに戸惑うことも多かったのではないかと思います。特に授業については、大きな違いを感じている人がほとんどではないでしょうか。これから授業内容はさらに深くなっています。調査Iを前にして、自分自身の学習状況を振り返り、不十分な点は早急に修正しましょう。

調査Iに向けて

調査Iが近づいてきました。高校に入って最初の定期調査です。

新宮高校は前期・後期の二学期制をとっている関係で、定期調査五回を、前期に三回、後期に二回実施しています。定期調査は、その間に学習した内容が、どれだけ自分のものとして身についているかを測るものです。今回は学習期間も短く、調査範囲も狭い上に、実施科目も多くありません。しっかりと準備して臨めば、誰もが良い成績を取れるはずです。全科目満点を目指して頑張りましょう！

ただし、試験前夜の一夜漬けの勉強では、その試験で点数は取れても、学習内容が本当に自分の力になっているかという大変疑わしいものです。試験が終わったらすぐに忘れて

調査I時間割

	15(火)	16(水)	17(木)
1限	コ英語I	国総古典	数学I
2限	国総現文		(115分)
3限			総体壮行会 生徒会選挙

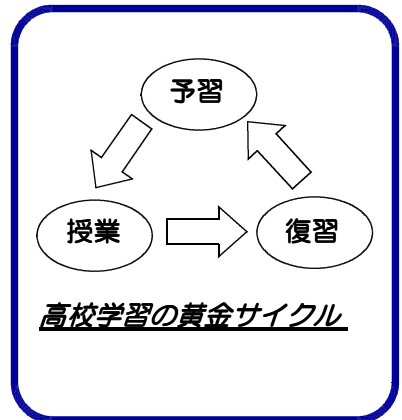
☆「定期調査中の注意事項」、急病等の時の対応、「警報発令下における対応措置」についても確認しておいてください。

予習→授業→復習の学習サイクル確立を

調査Iまでの授業は、まだ高校の授業というよりも、中学校の延長のようなレベルの授業が多かったかと思えますが、調査Iを終えると難度も速度も加速度的にアップします。しっかりと授業を理解し、学習内容を自分のものにしていくためには、家庭での予習・復習は欠かせません。どんなに難しいことでも、基礎からの反復練習を重ねること、マスターすることが出来ます。そのためには、反復練習⇨家庭学習が必要なのです。クラブで疲れて帰った日も、机に向かってやるべきことをやって休む、そうした生活習慣をぜひ身に付けてください。

また、高校の授業は、ただ「受ける」だけではなく、「活用する」という意識を持って取り組むことが大切です。予習でわからないところを明確にし、授業で確認、復習では学んだ内容を整理し理解を深める」という「予習→授業→復習」のサイクルを徹底し、実力アップを図りましょう。

日々の積み重ねは、必ず結果となって現れます。皆さんの先輩方でも、一年生の時から授業を大切にし、学習を積み上げた人は、希望進路を実現しています。ぜひ先輩に続いてください。



朝の小テストや週末課題も大切に
SHRで行っている英単語や漢字の小テスト、毎週末の課題も、積み重ねることで大きな力になります。小テストや週末課題を良いペースメーカーにして確実に学習を重ねよう。

☆先輩からのアドバイス☆ 昨年度の合格体験記より

私は、年生の時から、京都教育大学に行きたいと考えていました。推薦入試があることを知り、評定平均を少しでも高くしようと、定期調査はしっかりと勉強しました。調査の勉強は大学受験には関係ないと思っていました。長期間集中することに慣れていたので、本格的に勉強を始めた際にスムーズに取り組みることができました。また、スマートフォンで基礎をしっかりと身につけていたので、忘れてしまったことも少し勉強すれば思い出すことができました。ですから、推薦は視野に入れていない人も、定期調査は真剣に取り組んだ方がいいと思います。

京都教育大学合格 河野さん